

## 〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
1	あ ゆ み —明日にむかって—	20分 昭和58年 (1983年)	豊中の部落解放運動の歴史を、関西芸術座の女優 新屋英子さんのレポートで追う。数々の差別を受け続けてきた、そのあゆみを通じて、現在の問題点や将来への課題などを語りかける。
3	人 間 の 街 —大阪・被差別部落—	55分 昭和61年 (1986年)	同和対策事業により、地区の改善がすすめられたとはいえ、なお日常生活のあらゆる分野に差別が重くのしかかる被差別部落のなかで、力強く生きる人びとのありのままの姿をとおして人間の尊さに気づかせ、差別について考えさせる。
4	生きたいねん —被差別部落女性の半生—	36分 昭和59年 (1984年)	豊中の被差別部落の、-女性の差別体験をもとに関西芸術座の女優 新屋英子さんが演じる一人芝居「生きたいねん」を映像化-女性の半生を通じて、生きることの真の意味を見つめ直し、人権の大切さを訴える。
5	差別戒名への旅	31分 昭和61年 (1986年)	部落差別の過去と現在のつながりを差別墓標の取材と市内の同和地区に住む、一女性の半生と証言を重ねて描き、時代を越え、地域を越えて部落差別の核心に迫る。
6	信州地方の差別と生活 —高橋夫妻の場合—	26分 昭和61年 (1986年)	厳しい部落差別の中で、なお誇り高くやさしい人間像に、高橋さん夫妻のインタビューをとおして迫る、ビデオによる被差別体験の「聞き取り」。
7	失われた風景への旅	40分 昭和63年 (1988年)	厳しい差別体験をもつ青年教師が千葉で結婚。再び豊中へ帰郷し、部落差別に対峙するまでの軌跡を描く。
8	もえる舞い	55分 平成元年 (1989年)	鳥取県因幡各地には「傘踊り」の起源伝説がある。江戸時代末期の干ばつの際、雨乞いの悲願をこめて踊ったのがはじまり。「もえる舞い」は、永い間虐げられてきた人びとの燃えたぎるような思いの現われである。
9	家 族 —部落差別を生きる—	35分 昭和63年 (1988年)	“部落内外の結婚が増えてきているから、差別はなくなりつつある”という主張があるが、本当にそうだろうか。この映画は結婚という問題を通じて現われている差別の現実を知り、結婚差別をなくすための私たちの課題について考える。 (商工労政課も保有 37)
10	ある授業から…	32分 平成元年 (1989年)	子ども達が同和教育読本「にんげん」の学習をとおして、人間として生きていくうえで大切なこと、物の見方考え方などを学んでいる様子を伝え、保護者や大人自身が人権問題についての理解を深めていくきっかけとする。
11	部落差別のおこり —小倉藩の差別政策から学ぶ—	30分 平成元年 (1989年)	いつ、誰が、何のために部落差別をつくり、どのような状況のもとで部落差別を強化していったか。被差別部落の人びとが差別され虐げられる中で、いかに生涯に励んできたか、小倉藩の差別政策を中心に史実に基づいてまとめられている。

〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
12	日本の歴史と部落問題 第1巻 前近代編	50分 平成2年 (1990年)	①基本的人権と差別 ②原始社会と差別 ③古代社会と差別 ④中世社会と差別 ⑤中世被差別民の生活と文化 ⑥近世 社会と部落の成立 ⑦近世部落の役目と仕事 ⑧近世部落の 生活と文化 ⑨差別の強化と差別思想 ⑩差別への闘いと解 放思想
13	日本の歴史と部落問題 第2巻 近代編	50分 平成2年 (1990年)	①明治維新と解放令 ②自由民権運動と部落 ③日本資本 主義と部落 ④近代天皇制と部落 ⑤米騒動と部落 ⑥水平 社の創立 ⑦水平社運動の展開 ⑧水平社運動の人びと ⑨ 融和政策と融和運動 ⑩15年戦争と部落
14	日本の歴史と部落問題 第3巻 現代編	54分 平成2年 (1990年)	①戦後民主改革と部落解放運動 ②オールロマンズ事件と行 政闘争 ③同対審答申と同和行政 ④身元調査と人権啓発 ⑤部落地名総鑑と差別事件 ⑥えん罪と差別 ⑦同和事業と 市民生活 ⑧同和教育の展開 ⑨反差別国際連帯 ⑩部落 解放と民主主義
16	人の世に熱あれ、人間に 光あれ —部落の歴史1・前近代—	40分 平成2年 (1990年)	部落史の学習が単に知識の習得に終わるのではなく、部 落差別の非合理性を認識させるとともに、解放への確かな 指針を与え、能動的な行動を生み出すものでなければなり ません。そのため中学生から成人までを対象として、深い 内容をできるだけ平易に、そして史実に忠実に表現してい ます。  (18は商工労政課も保有 36)
17	人の世に熱あれ、人間に 光あれ —部落の歴史2・近代—	40分 平成3年 (1991年)	
18	人の世に熱あれ、人間に 光あれ —部落の歴史3・現代—	40分 平成4年 (1992年)	
19	部 落 史 学 習 1. 渋染一揆に学ぶ	17分 平成3年 (1991年)	岡山藩の部落民に対する一方的な押しつけである御触書によ る身分差別に反対し、立上がり、はねつけていった部落民衆の 切なる願いとその過程を理解させる。
20	繁栄の時代を支えて —ドキュメント被差別部落—	54分 平成4年 (1992年)	部落差別の現状はどうか、どのように再生産されているのか。 事実の羅列ではなく、その背景にある社会の構造まで迫り、今 日の差別の現実を明らかにしている。なぜ今日も部落差別が 存在しているのか、改めて深く考えさせる。
22	がんばれ！青春先生	54分 平成4年 (1992年)	純真な子どもたちに、大人が差別の芽をうえつけていないか？ 新任の小学校教師がクラスの子ども同士で喧嘩をきっかけに 部落問題にかかわっていく。子どもたちと悩み苦しむ無理解な 親たちを巻き込んで差別の愚かさを訴えていく。
25	ドキュメント 叫びとささやき	45分 平成2年 (1990年)	部落差別と闘ってきた大阪府松原市更池地区の実態を描く。 識字学級で学ぶ人、屠場で働く人、立場宣言をする子ども、差 別と闘い優しく強く生きぬく人たちの姿から差別をなくすための 私たちの課題について考える。

## 〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
26	あなたへの問いかけ —同和教育を考える—	35分 平成5年 (1993年)	同和教育をテーマにすえ、同和地区内外の親たちが同和教育について素直な意見を述べている。同和教育を受けたことのない保護者が述べる率直な疑問を通して、同和問題を考えていく本格的な作品。
29	喜 寿 の 舞	54分 平成4年 (1992年)	今はなき息子が地域の水平社70周年で表彰されることになった晴れの日、母親が万感の思いを込めて舞った喜寿の舞。貧困と差別の苦難の道を歩んだ半世紀。その生きざまを描いて人権・同和問題を問いかける。
30	けがれと差別意識	53分 平成5年 (1993年)	様々な宗教が信仰を集める中で、清浄に対するけがれという考えが浸透し始め、近世賤民への差別を生む意識ともなった。祭や文化・芸能など様々な事象から差別する矛盾を探りながら人権意識の高揚をはかる。
31	だれもが幸せに —いま、同和問題を考える—	22分 昭和61年 (1986年)	様々な努力によっていろいろな差別問題はなくなってきたが、心理的な差別問題は依然解消されない。差別を同和問題に限らず、広く人権問題としてとらえ、思いやりや人権尊重の意義を高めていくことが大切であることを考えさせる。
32	私 は 負 け ない	25分 平成4年 (1992年)	この作品は、いじめや部落差別に苦しんでいる児童自らの力で、その不当性に立ち向かうことの大切さ、さらに無関心な層を被差別の子どもたちを支える層に変えていくために、自分たちの持っている差別意識や優越感に気づくことの重要性を描いている。
33	同和問題の理解と認識 —歴史をとおして考える—	29分 スライド 版ビデオ 昭和50年 (1975年)	部落差別の起こりに関して、職業起源説や人種起源説、宗教起源説がなぜ誤りであるかを歴史的な事実を通して正しながら、政策起源の正当性を示し、同和对策事業の意義や啓発活動の必要性・重要性を気づかせる。
35	豊かな心を育む家庭	21分 スライド 版ビデオ 昭和61年 (1986年)	部落差別を解消するには偏見や差別意識をなくし、心理的差別を解消することが重要な課題になる。家庭においては家族が互いに人格を認め合い、思いやりや優しい心を育てていくことの大切さを考えさせる。
38	家 族 の 条 件 優子の青春物語 (字幕入り)	83分 平成6年 (1994年)	幼くして両親を失い、祖父の元で育てられた優子に結婚の話がもち上がるが、実は祖父には誰にも言えない心の傷があったのである。自分の息子が同和地区の女性と結婚することに対して、激怒し、ついには勘当していたのである。かつて息子に対してとった自分の態度と同じことが、今まさに孫の優子に起きようとしているのである。
40	同和行政の歴史に学ぶ	60分 平成6年 (1994年)	「解放令」から今日に至るまでの部落解放の歴史と、それに対応する行政施策の歴史を解説し、その内容と問題点、そして今日の同和行政の成果と問題点を解説しています。
45	か げ ろ う の 街	54分 平成5年 (1993年)	部落差別は、すべての人間を巻きこんで、すべての人権を踏みにじていきます。部落差別の構造の一断面を示し、その中では人はもはや無関係には生きていけないのだということを訴えている。

〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
51	くらしの中にひそむ 偏見	30分 昭和62年 (1987年)	私たちの身のまわりにある予断と偏見・差別性に目を向け、自分自身の心・生きざまを反省することにより「差別の本質を見きわめ、同和問題を自らの問題として受けとめる」ための導入研修用教材。
52	誇りうる 部落の歴史	30分 平成7年 (1995年)	宿場町を警護したり、水の安定供給を受け持っていた長吏職の人、薬を製造・販売していた被差別部落の人、高度な技術を駆使して造った用水の話など、被差別部落の人々は、不当な差別と闘いながら重要な役割を担っていた事実を描いている。
53	就職差別をなくすために ～統一応募用紙の成立と その趣旨～	25分 平成7年 (1995年)	就職差別にスポットを当て、統一用紙がなぜ制定されたのか、経緯や趣旨、また差別選考の実態などを描くことにより、様々な差別の厳しさを浮き彫りにして、差別問題の解消には、まず人権尊重の視点に立つことの大切さを訴えている。
54	三月三日の風 水平社誕生物語 (字幕入り)	53分 平成9年 (1997年)	水平社宣言の起草者であり、多くのすばらしい絵画や戯曲を残した西光万吉をはじめ、阪本清一郎たち若者が中心となって、苦難を乗り越え、同情や融和を拒否し、自ら人権と人間解放をめざす全国水平社を創設するまでの姿を描いている。 (商工労政課も保有 42)
56	「人権教育のための国連10年」と同和教育	55分 平成9年 (1997年)	各地で取り組まれている同和教育の実践や同和地区における識字運動などを紹介し、1995年から始まった「人権教育のための国連10年」について、その意義や内容について説明されている。
58	同和問題の早期解決に向けて ー昨日、今日、明日ー (スライド版ビデオ)	23分 平成8年 (1996年)	同和問題の起こりやこれまでの取組み・差別解消が遅れている理由・今後のあり方などを説明することにより、同和問題に対する正しい理解を深めるとともに、人権意識を高める具体的な方法や心理的差別をなくしていくことを考えていく。
67	それぞれの音色 太鼓の街に生きる	38分 平成10年 (1998年)	大阪の浪速地区。そこに生きる太鼓職人さんの技術と想い。差別の現実と向き合い、太鼓集団「怒」としての活動を通じて、自分の「人間解放」をめざすとともに、まわりの人びとの解放のきっかけとなることを願う青年たちの姿を追っています。
69	冬のひまわり	54分 平成10年 (1998年)	芙美は、大学時代に交際していた直哉と再会する。～なぜ、二人は別れなければならなかったのか。その後二人はどんな生き方をしてきたのか～登場人物が本音で語り合うことから同和問題が抱える現在の一面が浮かびあがってきます。
71	メゾン風の丘 (字幕入り)	53分 平成10年 (1998年)	大地を撫でるさわやかな薫風。陽光に愛しまれる人びとの生活。みんなが幸せに暮らすために、私たちはどう生きるべきなのでしょう。新しいマンション生活をはじめた人びとが住まいに対する差別に出会います。そこで人びとが何を考え何をみつけ、どう生きようとするのかを描いた作品です。
76	あすにつぐもの ～竹細工に生きる～	40分 平成11年 (1999年)	かつて竹細工製品は暮らしの中で欠かすことのできない用具でした。竹を材料にした様々な製品を生産してきた竹細工師。「細工もの」と蔑視されながらも、竹の技術と文化を担ってきました。そして現代。竹細工に誇りを持ち、創造的に継承しようとしている人達がいます。

## 〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
80	赤の他人はなかりけり ―庶民俳人一茶の句から―	31分 平成12年 (2000年)	小林一茶は、江戸時代の俳諧文芸に最後のピークを築きその生涯に約二万句を遺しました。しかも被差別民衆の生き方に共感と愛情を注ぎ、差別の現実鋭い批判の目を向けて、数多くの句を作っています。一茶の句を吟味しながら、近世社会で被差別民衆が果たしてきた役割、一茶の反権威思想と被差別民衆への共感の姿勢を、描いた作品です。
86	素 顔 の 心 で えびす食堂 幸せばなし	53分 平成12年 (2000年)	このドラマは、結婚しようとしている娘の父親が、社会に存在する差別意識や利己的な想いなどから自らの心を解き放ち、人間として本来あるべき生き方を手に入れていくプロセスを描いた作品です。 (商工労政課も保有 56,57)
91	明日があるやん (字幕入り)	53分 平成9年 (1997年)	大阪の被差別部落に生まれ、解放運動に身を投じている少年と和歌山で陸上競技に打ち込む少女が、大阪のミナミの街で運命的な出合いをする。胸の締め付けられるような二人の揺れ動く想いを、活気あふれる大阪と自然豊かな和歌山を舞台に生き生きと描き出す。
100	ドキュメンタリー一 結 婚	33分 平成10年 (1998年)	長野県中野市・野菜畑や果樹園の広がる農村地帯に、小林健さんと美子さん夫妻は住んでいます。二人は25年前に結婚し、今日までも歩んできました。出合いから結婚までには、五年の歳月がかかりました。結婚、子育てなど今日に至るまでの部落差別の厚い壁とのたたかひの姿をドキュメンタリータッチで描いた作品。
103	ド ラ マ 橋 の な い 川	139分 平成3年 (1991年)	明治・大正期の被差別部落を舞台に、厳しい部落差別への義憤とその中で培われていく人間の優しさや尊厳を土台にして、全国水平社が創立されていく過程を描く不朽の名作の映画化作品。
108	風化からの告発 身元調査を考える！	32分 平成12年 (2000年)	調査会社による身元調査事件は、調査会社の差別体質と調査を依頼した多数の企業の存在があったからこそ起こった。企業関係者による採用調査等の在り方の見直しと人権尊重の企業への変革への取組み、また、このような差別身元調査を支えている市民の差別意識を考える。
111	人の世に熱と光を ―永平の渴仰者 西光寺・清原隆宣―	26分 平成13年 (2001年)	21世紀の人権文化の思想的原点である「水平社宣言」。その精神を清原隆宣さんは、ズバリ「水平のものさし」の見直しという。人は何故、平等にならないのか。人は何故、尊敬し合えないのか。西光万吉の系譜を引く清原隆宣さんを通して「水平社宣言」の核心を描いた画期的なノンフィクション作品。
119	人権ってなあに 第4巻 「被差別民が担った文化と芸能」	43分 平成12年 (2000年)	全国各地の被差別部落を訪れ、伝承されてきた芸能と産業技術を研究してきた沖浦和光さんの研究成果をもとに大阪、奈良、浅草で被差別民衆が担ってきた芸能の歴史を紹介。
120	夢 の 約 束	53分 平成15年 (2003年)	飛び出そうとしているのに立ちすくむ若者たち。そんな彼らにも出合いがあり、愛が芽生える。自分らしくほこりを持って生きるには……。いま音も心も、ひとつに合わせて果たす夢の約束。
122	ラストからはじまる	53分 平成15年 (2003年)	吃音のため人間関係に自信が持てない中学3年生の土門光一と、被差別部落に住み、就職や恋愛に影響するのではないかと不安を感じている同じクラスの大八木和馬、石橋友恵。光一の写真部活動をとおして、和馬や友恵、部落に住む人々と交流し、中学生3人が成長していく姿を描く。

## 〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
129	人権のふるさと 水平社博物館	10分 平成11年 (1999年)	水平社発祥の地、奈良県御所市柏原で水平社の貴重な資料を展示するべく水平社博物館が開館した。館内には、さまざまな資料や擬似体験コーナー、各界の人々の支えがあって水平社運動が高揚、発展していった様子を展示している。2階のベランダからは、西光万吉の生家である西光寺を望み、水平社創設者達の息吹を感じる、当博物館の紹介ビデオ。
145	母として女性として人間として	30分 平成15年 (2003年)	蛍池人権まちづくりセンターで働く女性の語りを通して、そこでの活動(子どもたちの太鼓等)や蛍池保育所での演劇活動のこと、地域の人のお話を紹介する。彼女の仕事は、地域に住む人たちの生活相談だが、家庭訪問の様子や、仕事を通して人の気持ちを思いやれるようになったこと。中2の時に部落出身であることを話した際のすっきりした気持ち、ともに励ましあい支えあっていける多くの友達ができたと、人は変われること等を伝えている。
147	言葉で輝く〔第1巻〕 みんなにつたえたい ～識字は生きる力～ (DVDも有り)	34分 平成16年 (2004年)	日本の識字の原点と言われる同和地区での識字教育をテーマに、識字学校を取材。部落差別の中で生じた「奪われた言葉」の現実と、「言葉を取り戻す」ことで生きる力を得ていく学習者の姿を描きます。『言葉』や『読み書き』が人権を根底から支える問題であり、今なお『読み書き』に苦しむ人々の実情を伝えることで、「識字とは何か? 差別とは何か?」を訴えます。
150	差別っていったい何やねん ～歩く水平社宣言・川口泰司～	38分 平成17年 (2005年)	世代を超えて伝えなければならない強い思いがある。差別のない社会を願い、懸命に生きてきた父や母、祖母、そして多くの先輩たち。川口さんは26歳、その思いを語り継ぐ新世代である。差別の本質を追求し、自分の言葉とわかりやすい表現で語りかける。足元を見据えた日々の地道な活動に裏付けられたハートフルでエネルギー溢れる講演は今、多方面から注目され多くの共感を呼んでいる。
153	今でも部落差別はあるの ですか? ～マイナスイメージの刷り込み～	30分 平成17年 (2005年)	2002年3月末で同和対策事業に関する特別措置法が失効し、一般施策の中で同和問題の解決を図る時代になった。一方、同和地区の環境改善により差別現象がみえにくくなったこと、特措法失効のイメージが結びついて「差別がなくなっているのではないか」という誤解を招いているようだ。部落差別は、誰から伝えられ、どういうふうに伝播していくか? 部落差別を温存してきた社会システムとそれを支えてきたサイクルをグループ討議を通して考えあう。(商工労政課も保有 67,68)
164	部落の歴史 (中世～江戸時代) ～差別の源流を探る～	27分 平成19年 (2007年)	小・中学校の教科書から「土農工商えた非人」や「部落は、江戸時代に作られた」という記載がほとんど消えてしまった。(’01・’05年検定本)。本格的な歴史研究が進むにつれ、そうした考えは誤りであり、修正すべきという理解が、ここ20年、歴史研究者の間に定着してきたためである。この大きな部落史観の転換を受け、作られたのがこのビデオである。起源から現代まで、映像を通して、新しい部落史像を学ぶ。
165	部落の歴史 (明治～現代) ～近代化が存続させた差別～	26分 平成19年 (2007年)	
166	差別意識の解消に向けて (第1巻) 人権のまちづくり 〔市民向け〕	29分 平成19年 (2007年)	家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区やそこを含む校区にある物件を避ける人が、いままなお多くいるのはなぜでしょうか。地区内外の人たちがより良い暮らしをするために生活現場で協同して差別意識の解消に向けて「人権のまちづくり」に取り組んでいます。大阪府内の2つの人権のまちづくりの現場を訪ね、まちづくりをとおして差別や偏見の解消に取り組む人々の思いを伝えます。
167	差別意識の解消に向けて (第2巻) 宅地建物取引における 土地差別 〔宅建業者向け〕	22分 平成19年 (2007年)	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現し、実態のない噂や風説に基づいて温存されてきた同和地区に対する忌避意識が、自分の利害に関係する宅地建物取引に直面した時、どのように具体的な差別行為となって現れるかを考えてみます。宅地建物取引において人権問題に直面したときに、どのように対処すべきか、そして、住宅という人々の生活基盤を提供する重要な職務に携わるみなさんの人権意識の高揚がいかに大切かを、映像をとおしてともに考えます。
168	差別意識の解消に向けて (第3巻) 土地差別問題を考える 〔行政職員向け〕	24分 平成19年 (2007年)	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現し、実態のない噂や風説に基づいて温存されてきた同和地区に対する忌避意識が自分の利害に関係する宅地建物取引に直面した時、どのように具体的な差別行為となって現れるかを考えます。そして、住民や業者から「購入予定の不動産の所在地が同和地区かどうか」、「購入予定の住宅の校区に同和地区が含まれるかどうか」、「建売住宅の計画地が同和地区の隣接地かどうか」の問い合わせを受けた時の対応方法の一例をケーススタディーで紹介し、行政職員として土地差別にかかわる人権問題に直面した時、どのように対応すべきかを、自分自身の問題として考えます。

## 〔同和問題〕

貸出No.	題 名	時 間	内 容
ア	九兵衛六代記 —近世身分制度を考える— 人形劇 (アニメ)	30分 昭和61年 (1986年)	大阪のある被差別部落に残された資料をもとに創作。九兵衛の一族を六代にわたって描くことを縦系とし、古文書の資料をもとにそれぞれの時代背景を横系に配して構成。被差別部落の成立を分かりやすく学べるように人形劇を中心に描く。
ウ	まっ赤になったニワトリ (アニメ)	44分 平成2年 (1990年)	差別にしいたげられた生活の中で、助け合い励ましあってきた村人たちが、非道な権力者に闘いをいどみました。河内の国を舞台に、差別と権力に立ち向かう村人と、抵抗の姿を民話風のアニメーションをとおして訴えます。
オ	きつねのかんちがい (アニメ)	28分 昭和63年 (1988年)	奈良地方に伝わる民話で、副読本「にんげん」小学2年の教材「きつねのかんちがい」をもとに制作。身近な問題をとおして、合理的・科学的な見方、考え方を身につけ、自分の意見を主張し、行動ができる人間となる願いをこめている。
カ	ベロ出しチョン マ (アニメ)	15分 昭和62年 (1987年)	低い身分の弱いもの同士がせめぎあい傷つけ合う状況を同情的な受けとめ方で終わらせないで、権力による分断支配が、人間性をそこなうことを子どもたちが理解でき、差別の不当性と人間尊重の心が育ってくれることを願い制作された。
ク	チェリーブラッサム (アニメ)	42分 平成4年 (1992年)	中学生の友情と社会人の愛情。親友と恋人が同和地区出身と知った時、心の中でどのような変化がおきたか…というオムニバスドラマから、人間は自らの差別性に気付かないうちに、無責任な加害者になっている場合があることを考えさせる。
ス	ネバー・ギブ・アップ (アニメ)	40分 平成8年 (1996年)	同和地区で育った主人公は、日頃、周辺から受けてきた差別にやり場のない憤りで鬱積した気持ちをバイクの暴走に爆発させていたが、アルバイト先の工場主や学校でのサッカー部の監督・部員たちの支えによって立ち直っていく姿を描いている。
タ	菜 の 花 (アニメ)	20分 平成8年 (1996年)	「福岡県の被差別部落の語り伝え」をもとに、人間らしく生きる道をうばわれてきた人びとの悲しみと怒り、そして誇りを描きます。
ノ	シャッターチャンス (字幕入り) (アニメ)	25分 平成11年 (1999年)	写真家志望の大樹(高3)は、自分の価値観に固執して進学を強く勧める父親と対立して家を飛び出した。下町で指物師をやる叔父や、地域に溶け込んでいるタイ人の叔母、同和地区出身の写真家の生き方等に接し、一人ひとりの人権が守られることの大切さを知る。
ハ	勇気あるホタルと とべないホタル (アニメ)	17分 平成2年 (1990年)	羽がちぎんで生まれたために、とべないホタルがいました。彼をばげまし、助ける仲間のホタルたち、足の不自由な妹のためにホタル取りにやってきた姉と弟。ホタルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさと、思いやりの大切さを描いた作品。